

## 第1回

# いすみ市大原海岸日在浦地区及び大原漁港海岸 海岸づくり会議

## 会議録（意見交換要約版）

日時：令和5年7月30日（日）

午後1時54分～午後3時57分

場所：いすみ市役所3階 大会議室

## 意見交換会

### ○A委員

防潮堤の建設箇所はサイクリング道路を嵩上げするのではないのか。

海岸保全区域と保安林区域で担当課が違うから出来ないのか。

そうであれば、人命を救助する方が先なので、どういう考えかお話し願いたい。

### ○夷隅土木事務所

海岸保全施設は海岸保全区域の中で整備をするのが原則としております。位置や構造については皆様のご意見を踏まえて環境面、経済性など総合的に判断して再度検討していく必要があると考えております。

また背後の自転車道については、保安林区域にあるため実現の可否を含めて管理者と協議が必要と考えております。

### ○A委員

保安林に県道として自転車道路があり、土木事務所が管理しているが、それを嵩上げするということが出来ないのか。

### ○夷隅土木事務所

管理は夷隅土木で、自転車道路は占用施設であり、構造を変える場合には、保安林の規定に沿うかを含めて協議を進めていかなければならない。

### ○会長

全国でこういう問題が起きていまして、保安林、海岸、港湾、漁港は、それぞれ管理が異なり、予算や土地利用の関係から双方で話し合わないといけない。ただ、要望として今後の検討課題とすることはできます。

人命財産を重要視しなくてはいけないことですので、ただ単に部門、管理者が違うからというわけにはいかず、総合的に考えていく余地があり、時間がかかることだと思いますが、重要なことだと思います。

### ○B委員

津波対策は、ずっと働きかけていますが、その想いはサイクリング道路を嵩上げで、これが皆さんの共通する想いで常識的なところだと思います。今日は最初の会議だから、海岸保全区域と保安林区域という線引きで、資料を作成されていると思いますが、計画のままこの場所に防潮堤を整備すると、砂浜が勿体なく、景観も観光もダメになり、サイクリングで行っても海は見えないということになる。

皆さんの強い声があれば、保安林解除の検討をしていただけたらと思います。

サイクリング道路にも観光に使い、非常時は防潮堤になると、フェーズフリーとなり非常に良いと思います。

森の防波堤という言葉もありますので、やはり林業事務所と県土整備部と一体的にサイクリング道路を嵩上げた形で、安全に配慮し整備していただければと思います。

### ○C委員（河川整備課）

今日は、第1回の会議でございましたので、我々海岸管理者がいきなり保安林区域の中に何かをつくるということは、最初は出来ない。ですので、地域の皆様方がそれを求めてらっしゃるということを確認させていただいたうえで、保安林区域を管理している部署と今後協議をしていきたいと思えます。九十九里浜の方でも、保安林側その位置について個々の区間ごとに調整をやってきておりますので、今日、率直な意見をいただいて、その声をもって我々の方で協議調整させていただければと思えます。

### ○D委員

既施設を嵩上げすると継ぎ目が弱くなると思うので、新規に防潮堤をつくった方がいいのではないかと。砂で盛土してつくるところも、九十九里の方でありますけど、いすみ市では、どうなのか。

また、避難タワーや避難道路を整備するにあたり、道路は低いところと高いところがあるが、避難の際に低いところで被害にあわれる方が多いので、慎重に検討してもらいたい。

### ○会長

道路の関係、それから土地の低い高いもありますけれども、いただいた意見を十分考慮して検討していきたいと思っています。

### ○E委員

対策エリアについてですが、日在の海岸から大原漁港までということですが、大原漁港の南側に半年堂海岸があり、東日本大震災の時には9mの津波が来たとききました。

八幡岬の南側にある丹ヶ浦海岸は整備対象ではないのでしょうか。

それと基本的なことですけどT.P.というのは東京湾平均海面ですか。大原漁港はT.P.平均海面よりも、高いと思うがどうでしょうか。

### ○夷隅土木事務所

T.P.は東京湾平均海面で、地図で使う標高と一致するものでございます。

海の関係の高さを示すときに、他にも基準があるが、今回はT.P.を使わせていただいております。

### ○F委員（漁港課）

T.P.は東京湾平均海面ということで、絶対的な高さになります。漁港ではC.D.L.を使用する場合もございますが、今回は高さを統一するということで、T.P.で表示をさせていただきます。この高さは漁港によって、あるいは海面によって変わるものではないかと。

丹ヶ浦海岸は背後地が高く、低い場所に人家がないことから、こちらに対しての対策は、現在は行わないです。

### ○E委員

L1津波は、元禄地震なのか東京電力の東電設計のシミュレーションによるものか。

○**F委員（漁港課）**

今回、L1津波として対策を行う外力的なものは、東北地方太平洋沖地震の津波を対象としております。

○**E委員**

東日本大震災ではなく、南海トラフの地震だったら逆方向ですが、そこまで考えていますか。

○**C委員（河川整備課）**

L1津波は、数十年から百数十年の間に、銚子から館山の洲崎の間に起きうる津波の中で、施設の防護をどのくらいでやるのかを考えた時に、どれが一番高くなるかシミュレーションをした結果、太平洋側では東北地方太平洋沖地震の津波が高かったところでした。一方で、L2津波はもっと高い津波の水位が、いすみ市にやってくるということになります。L1とL2で、一番高い津波が出る地震というのは、その地域によって異なってきます。

南海トラフは、東京湾、館山から西側で考慮され、千葉東沿岸の海岸基本計画の中では対象とはしていません。

○**D委員**

L2津波に対応した施設はつくらないのか。

○**会長**

L2津波に対応した施設は、経済的にも間に合わないのでソフトで対応し、L1津波はハードで対応する。L2津波のように、いつ、どのくらいの間隔で来るかわからない、目安がないようなものに対しては、ソフト対策で対応すると、国土交通省が全国共通で決めたものであります。

○**G委員**

図面で見ても貰ってもわかります様に、漁港周辺の住居の密集度は日在海岸と比べてもこちらの方が多く、臨港道路のすぐ脇にでさえ居住者がいます。

漁港周辺の整備だけという形ではなくて、住民、住居に対しての配慮も必要な意見が多々出てくると思いますので、よろしくお願ひします。

○**会長**

人口が少ない多いではなく、背後地の住民の方々、家屋財産についても当然頭に入れて計画を練っております。

○**C委員（河川整備課）**

漁港だけとか、海岸さえ守ればではなく、いすみ市をどうするのかというところで、最後取りまとめていくことになると思いますので、様々な観点からご意見いただければと思います。

## ○H委員

防潮堤の整備の範囲ですが、大原漁港から例えば太東岬まで一連で5.8mの防潮堤をつくるのではなく、必要な部分につくる考えですか。

海岸保全区域と保安林区域の仕切りの中で、サイクリング道路の低い堤防があり、更に砂浜の方に5.8mの堤防が出来るのは、昔から住んでいた私たちにとっては、耐えがたいことです。白砂青松の地を見てきた私たちは、それが生命財産を守るということもあるが、景観が一変してしまうので景観面等も考えてほしい。

5.8mの防潮堤が構築された際に、丘からはコンクリート構造物が見えてくるわけで、何かの資料で緑の堤防という計画を見た。今回5.8mの堤防がつくられた際にコンクリートを消すために盛土を是非やってもらって、そこに植林を検討してほしい。

## ○会長

市は避難タワーや道路の整備、ソフトもハードも総合的にやってく姿勢を持っており、県も頑なに銚子岬からここにかけてコンクリートで固めていこうとは思っていません。

地元要望で施設が必要ないのであれば、ソフト対策で対応していく考えもあります。

## ○H委員

誤解されたかもしれませんが、津波を抑えるためにはコンクリート護岸が一番有効と思っています。けど、丘の方から海を見た時に白いコンクリートというのは素っ気ないので、そこに土盛や植林を行うと、昔ながらの景色が維持できると思う。

## ○会長

当然、県の方も見た目にも悪いようなものは決してつくりたいと思いません。

子々孫々のために、環境、安全性、生命財産を守らなければいけないという意味を持って、できるだけ良いものをつくってほしいと思います。

## ○副会長

防潮堤とサイクリング道路の間に砂浜があり、素案でつくられた防潮堤の先へも砂浜がある。サイクリング道路で最近遊んでいる人は少ないかもしれませんが、観光で遊びに来る人もいるなかで、津波は20分で来るとあったが、2箇所も高い施設があり避難に対してはどうするのか、素直な疑問です。

それと白砂青松という話が出ましたが、この砂浜はどうなりますか。

もう一点、勝浦市の例で防潮堤をつくらないと言っていました、何故そうなったのか。いきさつがわかれば教えて貰いたい、我々が議論するにおいて十分参考になると思います。

## ○会長

勝浦市は、私が座長でした。コンクリートで固めてほしくない、観光で食べている部分もあるのでぜひ防潮堤については考慮してもらいたい。会議の委員の意見では反対だということで、住民全体に聞いたわけじゃないです。委員会としてはこれで審議は終わりというのではなく、また数年したらもう一回やりましょと、つまり継続審議という

ことになっています。

ですから、数回の委員会ですべてを決めるというのは、なかなか難しいわけです。

ここで皆さんのご意見をいい方にもっていこうと、最低限のところは検討し、箇所によっては高さの具合、それから砂浜を無くしてはいけないとか、緑地を保存しようということを総合的に考えて画がつくられてくる。そのための、この委員会だと思いたいで、是非、いろんな意見を出していただきたい。

○市長

私たちは、ソフトは全面的にやりますので、あとハードをどうするか。

津波の影響を少なくするにはどうしたらいいのか。緑の保全大事だと思います。それを含めて、どうするのか考えて未来の子供たちのために素晴らしい財産を残すことを考えていきましょう。よろしく願いいたします。

○I委員

本当に活発な意見が出ていたと思います。また、いすみ市でもしっかりと津波避難対策をやっているということを非常に素晴らしいと思います。

今後も、B委員ともども皆様と意見をしっかりと、進めていきたいと思っています。

午後3時57分 閉会